

一般社団法人 日本応用地質学会

平成 27 年度・2015 年度

第 1 回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会議事録(案)

日 時 : 2015 年 4 月 13 日(月) 14:00~17:30

場 所 : 国際航業(株) 本社会議室

出席者 : 茶石委員長、尾園委員、越谷委員、近藤委員、伝法谷委員、林委員、横尾委員、山下委員、
山田幹事

欠席者 : 伊藤委員

委任状提出 : 百瀬委員

※第 10 回アジア地域応用地質学シンポジウム実行委員会 論文集分科会との共同開催

分科会出席者: 木谷分科会長

査読 WG: 太田委員(リーダー)、塩崎委員、長田委員、塚本委員、佐々木委員、向山委員、
幡谷委員

(欠席者: 井口委員)

編集 WG: 原委員(リーダー)

データ管理事務局: 尾園委員(リーダー)、横尾委員、山下委員、山田幹事

議事:

1. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

① 「第 10 回アジア地域応用地質学シンポジウム」(以下、10thARC) 関連

・「第 10 回アジア地域応用地質学シンポジウム」(以下、10thARC) の日本開催(2015 年 9 月) へ向
けた準備作業等について、確認した。

② **論文集分科会**

・10thARC に関連して、投稿論文の取り扱い(主に査読関連)について、分科会メンバーとともに確
認した。

<登録料: Early Bird>

・「シンポジウムに登録料を支払えば国内研究発表会の参加費用が免除される」旨を、学会NL
にて全学会員へ速やかに周知する。

・周知について、早めに第一報を流す。その後は2週間に1回の頻度で繰り返し周知すること
が望ましい。学会HPのトップページでの周知も合わせて行う。

<論文受付>

・締め切りの延長について、5月末へ延長すると査読期間及び論文編集期間に余裕が無くな
るおそれがある。査読を経ての論文確定が7月へずれ込んだ際に、工程的に論文編集が可
能かどうか、印刷会社対応も含めて確認しておく。

<査読要領>

・論文の査読要領、査読シート(案: 別紙1、別紙2)、査読候補者のリストアップ(案)について、
説明がなされた。

- ・論文受領の判断は、査読WGの各トピックリーダーが別紙2に明記した時点で決定とする。
- ・アブストラクト受領時点でトピックの変更が必要と判断されていたものは、4月中に変更処理を行う。
- ・査読段階でトピック変更の必要性が生じた場合は、当初トピックのままに査読を行う。

<査読者>

- ・査読候補者について、各トピックリーダーにて4/24(金)までにリストアップし(メールアドレス情報を含む)、提出する。
- ・リストアップ後、査読候補者のトピック重複をチェックした上で、学会事務局から各査読候補者へ査読依頼の一斉配信を行う。
- ・査読依頼の一斉配信時に添付する依頼状については、4/24(金)の理事会までに準備する。
- ・その後の査読者の変更については、各トピックリーダーで対応する。

<データ管理事務局⇄査読者>

- ・データ管理事務局から査読者へ論文配信する際には、各トピックの査読WGメンバーをCCに加える。また、配信時には査読要領及びReview sheetの定型文を準備する。「査読結果のReview sheet返信時には、CC(査読WG)も含めた全メンバーへ送付すること」の旨を記す。
- ・論文提出は5月に集中することが想定されるため、データ管理事務局ではほぼ毎日の割合で提出状況のチェック、および査読者への配信を行う必要がある。
- ・査読者へ配信してから3週間を過ぎても査読報告書が戻らない場合は、データ管理事務局から催促の連絡を入れる。これらの配信・返信状況の管理については、事務局にて統一した手法を用いる。

<データ管理事務局⇄論文著者>

- ・論文著者へ送付する査読報告書(pdf)は、データ管理事務局にて査読者情報の削除処理を行う。
- ・査読指摘への期限内未返答者を不採用とする判断は、最終的にはデータ管理事務局で下す。

<論文受領後>

- ・口頭発表への割振り案は、最終的に分科会長とデータ管理事務局にて行う。

<論文賞>

- ・受賞候補論文は、査読結果のレーティングに基づいて査読WGにより選定する。
- ・候補論文数は、「査読WGにより、各トピックから2/30編以内で選出する」といった基準を設ける必要がある。この点については、分科会長から提案を行う。

以上